入札率は下がり続ける

2022 年 11 月 — 全国的に、Redfin エージェントによって書かれた住宅オファーの 44.6% が 8 月に競争に直面しました。これは、パンデミックの開始以来、最低の入札戦争率です。前年の 63.5%、7 月の修正率 47.2% から低下し、7 か月連続の減少となっています。

全国の Redfin エージェントが提出したデータによると、入札戦争の典型的な家は、7 月の 3.5 件と 1 年前の 5 件と比較して、8 月に 3.2 件のオファーを受けました。

住宅市場が冷え込み、2021 年から 2022 年初頭にかけて、買い手がパンデミックによる住宅購入の熱狂から遠ざかり、住宅販売数が前年比で 20% 近く減少するにつれて、入札合戦率は低下しています。住宅ローンの金利が 1 年前の 2 倍になり、9 月中旬には 6% に達したことが主な理由で、買い手は市場から撤退しています。

テキサス州サンアントニオの Redfin エージェントによって提出された住宅オファーの 5 分の 1 強 (21.7%) が 8 月に競争に直面し、分析された大都市圏の最低シェアでした。フロリダ州タンパは 2 番目に入札率が低く (23.8%)、ワシントン州オリンピア (24.2%)、フェニックス (26.4%)、ミネアポリス (27%) が続いた。

フィラデルフィアの入札合戦率が最も高く (入札の 61.7% が競争に直面)、カリフォルニア州サンノゼ (58%)、ロードアイランド州プロビデンス (54.5%)、ボストン (54%)、デトロイト (52.9%) が続く。

入札合戦率が最も低下したのはノースカロライナ州ローリーで、8 月の住宅オファーの 35.4% が競争に直面し、前年の 78.9% から低下しました。次いで、テキサス州サンアントニオ (59.8% から 21.7% 低下)、ノースカロライナ州シャーロット (68.8% から 31.4% 低下)、ワシントン州オリンピア (60.7% から 24.2% 低下)、コロラド州コロラドスプリングス (62.5% から 29.7% に低下)。

落札率が最も高いフィラデルフィアを除いて、分析対象となったすべてのメトロで入札率が低下しました。その割合は、1 年前の 60.2% から上昇しています。

タウンハウスのオファーは、他の物件タイプよりも競争に遭遇する可能性が高く、Redfin のオファーの 44.1% が入札戦争に直面しています。次いで、一戸建て住宅 (42.1%)、集合住宅 (40.2%)、コンドミニアム (37%) が続きました。

SOURCE: The Title Report https://bit.ly/3MoMIPS

PROVIDENT TITLE COMPANY